

生活クラブ風の村 2014年度事業報告

全事業共通の方針（抜粋）

A 社会福祉法人の使命と地域包括ケアの推進

A-1 社会福祉法人の社会的使命としての地域貢献

[互助の仕組みづくり]

各拠点において生活クラブ安心システムの実行計画について討議しました。生活クラブ安心システムの担い手として、生活クラブ虹の街、ワーカーズコレクティブ千葉県連合会、VAICコミュニティケア研究所（以下VAIC-CCI）に協力を呼びかけ互助のしくみづくりにつながる活動を行いました。

[生活クラブ版地域福祉活動計画の実行と地域福祉支援積立金]

9市で展開されている地域福祉活動計画のうち、生活クラブ安心システムを推進する6市について、地域福祉活動計画を生活クラブ安心システム推進計画として進めることを生活クラブ千葉グループ推進協議会に提案し合意しました。

昨年同様、インフォーマルサービス助成、地域福祉支援積立金助成団体を募集し助成を決定しました。

A-2 地域包括ケアを目指す事業と地域活動の推進

2014年7月に流山市に6つ目の拠点「風の村流山」がオープンし、サービス付き高齢者向け住宅である「サポートハウス流山」は順調に滑り出しています。

2014年7月生活困窮者向け住宅として市川市に「きなりの街すわだ」がオープンしました。

ケアラー支援推進連絡会は奇数月を基本として、事業所からの有志とVAIC-CCIの参加で開催しました。NPO法人介護者サポートネットワークセンターアラジンのカフェ支援パートナー会員に入会し、地域でのケアラーズカフェの立ち上げ支援や、ボランティアスタッフの養成などについて支援を受けています。

A-3 生活困窮者の支援と貧困の連鎖防止

2013年度に引き続いて、柏市、船橋市、千葉市、佐倉市で、生活困窮者自立促進支援モデル事業を受託し、実施しました。

B ケアサービスの質の向上と人材育成・人材確保

B-1 ケアサービスの質の向上と人材育成

職員研修（新入職員・2～3年次・介護職員の基地研修など）や、介護技術、権利擁護など、多くの研修を開催しま

した。専門性を高めるための研修としては、各分野別で研修計画を立て開催しました。

[自主監査室の活動]

2014年度は、事前の連絡なしに抜き打ちで自主監査室メンバーが事業所を訪問する方法で調査を行いました。

「介護の基本 10の基本ケア」の項目、清掃や休憩室等の事業所の環境を項目にしました。また、場面観察を行うことで普段の利用者への関わりも確認しました。調査を受けて事業所は改善策を立案し実行に移しています。

[苦情解決第三者委員の活動]

引き続き、特養ホーム、サポートハウス、有料老人ホーム等のいわゆる入居・滞在型の施設で設置している「訪問型」の苦情解決システムを継続しています。

B-2 人材確保戦略

職員採用専用サイトのホームページを4月に立ち上げました。新卒者に向けた情報発信を充実させるとともに中途採用についても各事業所情報を随時更新しています。

B-3 権利擁護と虐待防止の取り組み

虐待防止のための体制構築プロジェクトで検討し、虐待防止規程、虐待防止に関する指針、障がい児者虐待防止に関する指針が制定されました。

また、衛生委員会（健康職場作りミーティング）においてはメンタルケアや職場環境の改善に取り組み、働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

C ユニバーサル就労の拡大

C-1 ユニバーサル就労の社会化とネットワークの拡大・充実

生活クラブ千葉グループ、(株)生活科学運営等県内のユニバーサル就労に関連のある団体とともにユニバーサル就労の社会化、高度化などをめざし、任意団体として活動していたユニバーサル就労ネットワークちばをNPO法人化しました。

ユニバーサル就労の社会化のために、福岡、松江、大阪、兵庫、神奈川、東京、岩手、札幌、旭川など全国各地で講演を行い、また厚生労働省をはじめとした行政の視察や山口、大阪、岐阜、神奈川、福島、北海道など各地からのユニバーサル就労の視察対応をしました。

C-2 生活困窮者自立支援法とモデル事業の実施

県内の生活困窮者自立促進支援モデル事業のうち、千葉市、佐倉市、柏市、船橋市は、引き続き生活クラブ風の村が関わって実施しました。

また、厚生労働省社会福祉推進事業として、「生活困窮者自立支援法施行直前シンポジウム～明日につながる自立・就労・家計相談のあり方について～」を9月4日に東京、9月24日に熊本において生活協同組合連合会グリーンコープ連合とともに開催しました。

C-3 ユニバーサル就労支援室の機能の見直しと高度化

9月から本部にユニバーサル就労推進室を設置し、ユニバーサル就労支援室の事務局機能、厚生労働省社会福祉推進事業、生活困窮者自立促進支援モデル事業などを担いました。

C-4 ユニバーサル農業の推進

ユニバーサル農業推進会議を設置して、野菜のカット工場の設立をはじめ、障がいのある方や、ユニバーサル就労の対象になる方々を対象とした複合的な就労支援施設も兼ねた複合施設の設立を検討しました。

さくらと四街道のユニバーサル農業フェスタに参画しました。

D 職員組織運営改革と広報戦略

D-1 人事賃金制度の見直し

個々の職員の生活環境が変わっても長く働き続けることができる職場をめざし人事・賃金制度の改革議論に着手しました。

D-2 しくみに基づく業務運営

各業態、事務分野ごとに課業の洗い出しを行い、その課業項目ごとに新たなマニュアル(KAZEGRAM)を作成しました。

D-3 参加型職員組織の推進

「参加型職員組織推進プロジェクト」を設置して実行方針を提案する予定でしたが、設置せず経営会議議案として9月に下記の実施を決定しました。

- ①個人でアクセスできる情報共通ツールの設定
- ②サークルや同好会の活動支援
- ③理事長訪問の取り組み
- ④参加型会議運営の取り組み

D-4 広報戦略

求人専用パンフレットをリニューアルしました。18ページ構成でインパクトのあるものを作成することができました。

E 事業の継続と充実

E-1 財務構造の改善

決算報告を参照

E-2 災害対策

防災委員会では各事業所の防災に関する取り組みを共有しました。それぞれの事業所で定期的に訓練を実施し災害時に備えています。

11月に法人全体で安否確認訓練を行いました。訓練後に防災担当者が集まり、事業所の情報収集の違いを確認し、自事業所の対策に活用しました。

E-3 新規事業

[生活困窮者のためのケア付き住宅の開設]

生活困窮者のためのケア付き住宅(12戸)「きなりの街すわだ」を2014年7月に市川市須和田に開設しました。

[生活クラブ風の村流山複合施設について]

2014年7月にサービス付き高齢者向け住宅(44戸)・訪問介護・訪問看護・居宅支援・デイサービス(15名)の複合施設を流山市東深井に開設しました。

[流山おおたかの森複合施設開設について]

UR関連開発事業に参画し、流山市内のおおたかの森駅近くにサポートハウスを中心とする拠点作りをめざし協議を続けてきました。

[佐倉市における保育園事業開始について]

佐倉市立佐倉東保育園の民営化に係る運営法人に生活クラブ風の村が選定され、開園に向けて準備をしています。これまで保護者説明会、近隣住民説明会、佐倉市職員向け就職説明会をおこないました。

[㈱生活サポートクラブ福祉用具事業の統合について]

㈱生活サポートクラブの福祉用具事業(レンタル、物販、住宅改修等)の統合にむけて実務的な課題整理及び調整を進めました。生活クラブ風の村福祉用具事業部とし、2015年4月に開設しました。

[病児保育事業の検討について]

病児保育事業開始に向けてプロジェクトを発足しました。これまで4回の会議を開催し、現在、事業計画案を策定中です。

E-4 事業の統合・閉鎖

デイサービスセンター柏は、建物老朽化が進み事業継続が困難となりました。基準を満たさない耐震構造であるなど、現物件での事業継続は利用者の安全確保も厳しいと判断し、3月31日をもって事業を終了しました。

2014年度決算報告

1. 事業・資金収支の状況

事業活動計算書の収益は、風の村流山（サービス付き高齢者向け住宅、デイサービス等）、さなりの街すわだ（有料老人ホーム）の新規開設があり、前年比112.9%の収入増となりました。収益内訳では介護保険収益、障害福祉サービス収益、サービス付き高齢者向け住宅収益、児童福祉収益、保育事業収益が伸びました。支出については前年より増加しておりますが予算比95.9%と予算内の執行ができました。経常増減差額内訳は、訪問介護事業、デイサービス事業、児童・保育園事業、児童デイ事業が順調です。法人全体の経常増減差額は前年比131.4%の58,841千円となり増収増益の収支構造になりました。

財政状態（貸借対照表）は総資産4,488,612千円となり前年より169,393千円増加しています。流動比率は116.4%で、内部留保率は13.4%となり前年より0.7%増加しました。

資金収支は長期運営資金借入金200,000千円、地域福祉支援等のための取り崩し18,851千円を行いました。積立は修繕積立金31,000千円と施設・設備積立金18,000千円の積立及び地域福祉支援積立金10,000千円の積み立てを行いました。

2. 事業活動計算書概略（2014年4月1日～2015年3月31日）

単位：千円（千円未満切捨て表示）

項目	サービス活動収益	前年比	サービス活動費用	前年比	経常増減差額	前年比
計画	4,400,741		4,317,462		71,132	
実績	4,210,891	112.9%	4,141,464	112.4%	58,841	131.4%
予算比	95.7%		95.9%		82.7%	

3. 貸借対照表（2015年3月31日現在）

単位：千円（千円未満切捨て表示）

資産の部		負債の部	
流動資産	757,886	流動負債	651,355
現金預金	106,621	短期運営資金借入金	85,000
事業未収金	588,618	事業未払金	278,366
未収補助金	36,507		
貯蔵品	9,095	1年以内返済設備資金借入金	129,582
商品・製品	427	1年以内返済長期運営資金借入金	50,588
原材料	1,739	預り金	13,399
立替金	7,584	職員預り金	11,748
前払金	7,177	前受金	9,311
短期貸付金	115	賞与引当金	73,357
固定資産	3,730,726	固定負債	2,038,497
基本財産	2,400,398	設備資金借入金	1,587,129
土地	198,392	長期運営資金借入金	242,349
建物	2,202,006	長期預り金	160,591
その他の固定資産	1,330,327	退職給付引当金	48,427
土地	36,778	負債の部合計	2,689,852
建物	438,166	純資産の部	
構築物	170,593	基本金	113,955
機械及び装置	9,573	国庫補助金等特別積立金	1,085,268
車両運搬具	6,809	その他の積立金	245,891
器具及び備品	170,240	修繕積立金	152,975
建設仮勘定	22,960	施設・設備整備積立金	69,955
権利	10,159	地域福祉支援積立金	0
ソフトウェア	23,201	建設積立金	22,960
投資有価証券	20	次期繰越活動増減差額	353,644
長期預け金	190,034	（うち当期活動増減差額）	52,125
保育所繰越積立資産	107,975		
施設・設備整備積立資産	69,955		
修繕積立資産	45,000		
長期前払費用	28,857	純資産の部合計	1,798,759
資産の部合計	4,488,612	負債及び純資産の部合計	4,488,612

4. 資金収支計算書（2014年4月1日～2015年3月31日）

単位：千円（千円未満切捨て表示）

勘定科目		予算	決算
事業活動による収支	収入		
	介護保険事業収入	2,646,785	2,494,841
	老人福祉事業収入	420,193	414,704
	児童福祉事業収入	178,019	176,852
	保育事業収入	261,960	262,397
	就労支援事業収入	25,448	5,453
	障害福祉サービス等事業収入	568,932	557,077
	医療事業収入	119,293	128,339
	その他の事業収入	148,177	139,074
	建物貸付事業収入	21,087	21,555
	飲食事業収入	7,646	4,571
	借入金利息補助金収入	795	513
	経常経費寄附金収入	2,117	4,955
	受取利息配当金収入	613	897
	その他の収入	14,020	34,060
ヘルパー講座事業収入	1,080	1,069	
事業活動収入計	4,416,170	4,246,362	
支出			
人件費支出	3,085,450	2,978,358	
事業費支出	394,840	397,313	
事務費支出	637,754	580,772	
就労支援事業支出	44,665	23,110	
支払利息支出	27,575	27,357	
その他の支出	0	18,681	
流動資産評価損等資金減少	0	78	
事業活動支出計	4,190,285	4,025,690	
事業活動資金収支差額	225,884	220,672	
収入			
施設整備等補助金収入	12,725	12,687	
設備資金借入金収入	130,000	80,000	
固定資産売却収入	0	399	
施設整備等収入計	142,725	93,086	
支出			
設備資金借入金元金償還支出	117,708	116,627	
固定資産取得支出	211,457	143,019	
施設整備等支出計	329,165	259,646	
施設設備等資金収支差額	▲186,439	▲166,560	
その他の収入			
長期運営資金借入金収入	200,000	200,000	
積立資産取崩収入	18,851	18,851	
拠点区分間繰入金収入	31,424	27,924	
その他の活動収入計	250,275	246,775	
支出			
長期運営資金借入金元金償還支出	10,387	10,387	
投資有価証券取得支出	0	1	
積立資産支出	76,000	59,000	
拠点区分間繰入金支出	31,424	27,924	
その他の活動による支出	86,746	115,960	
その他の活動支出計	204,558	213,272	
その他の活動資金収支差額	45,716	33,502	
予備費支出	44,000		
当期資金収支差額合計	41,161	87,614	
前期末払資金残高	270,278	270,278	
当期末払資金残高	311,440	357,893	